

新校舎建設工事に関する 説明会



新校舎の建設について

■ 新校舎建設工事に関わるこれまでの経緯

令和6年奈良市議会3月定例会において、鼓阪小学校と佐保小学校を統合再編し新校舎を建設する予算として、佐保小学校校舎建設事業債務負担行為額51億1,450万円が認められた。
認められた予算に基づき、建設工事を進めるため入札の準備を進めてきた。

令和6年 8月9日	新校舎建設工事の入札が、参加者なしで不成立となる。
	- 不成立の要因について調査の結果、コンクリートをはじめ建築資材の価格や人件費の急激な高騰等と判明する。 - 対応として、校舎建設工事を行うために必要となる経費を精査する。
8月30日	令和6年度奈良市議会9月定例会に、建設工事費債務負担行為額を12億2,400万円増額する補正予算の議案を提出した。 増額前 51億1,450万円  増額後 63億3,850万円 建物の仕様を維持しつつ、物価高騰を踏まえた見直しによる増額を行う
9月 6日～	本会議及び、行財政改革及び公共施設等検討特別委員会にて審議が行われる。
9月25日	行財政改革及び公共施設等検討特別委員会で議案が否決となる。
9月30日	令和6年度奈良市議会9月定例会で議案が否決となる。

新校舎の建設について

■ 議会で審議された主な論点

増額約12億円について

- ❑ 当初の工事金額の積算には、昨今の物価上昇リスクを適切に反映できていなかったのではないか。
- ❑ 一つの学校を建設するには高額すぎるのではないか。
- ❑ 増額補正するにあたり、経費の削減に努めているのか。
- ❑ 当初の債務負担行為限度額の約51億円の範囲内で建設はできないのか。

工事期間について

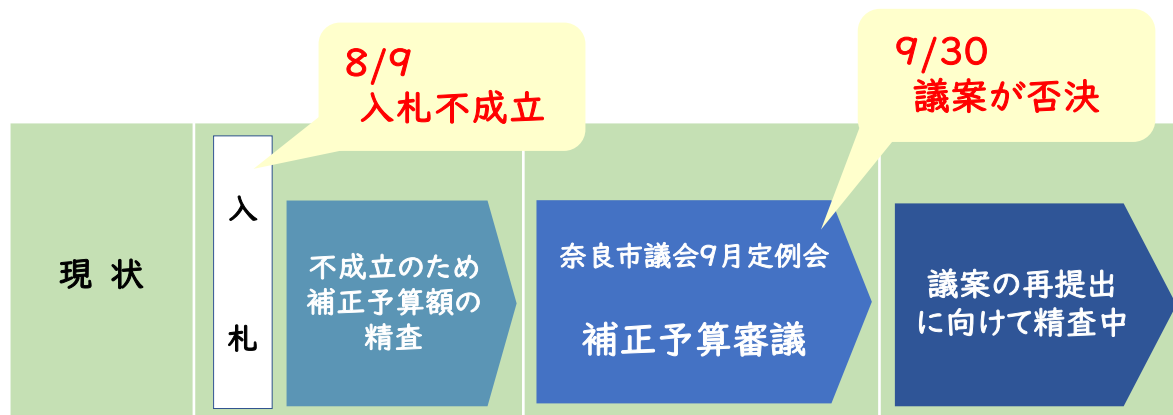
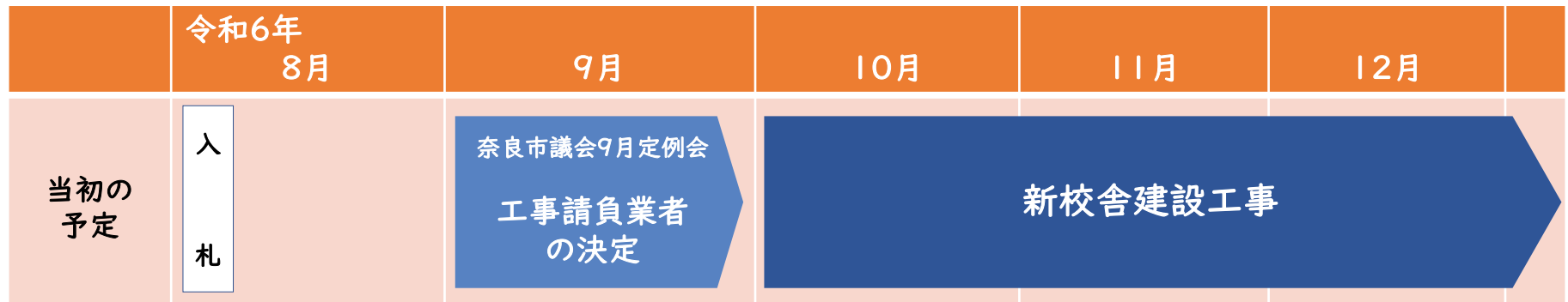
- ❑ 校舎の完成が遅れた場合、学校生活を行う上で子どもたちの安全面への懸念はないのか。
- ❑ 令和8年4月開校というタイトなスケジュールが、入札不調に与えた影響があるのではないか。

開校時期について

- ❑ 学校規模適正化において、これまで当初の計画を遅らせた事例は他にあるのか。

新校舎の建設について

■ 新校舎建設に係る現状



新校舎の建設について

■ 今後の予定

今回の新校舎建設工事は、建設業界における物価高騰等を適正に反映することができず、入札が不成立の事態となりました。

現在、再度入札し、新校舎建設工事が行えるよう、工事費や工期の見直し等について精査しております。

なお、詳細な内容について決まり次第、お知らせいたします。

保護者の皆様や子どもたちには、ご心配をおかけしまして
誠に申し訳ございませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。